

食育つうしん

2

月

発行：大阪市立 淀川 中学校

生活習慣病と食事

生活習慣病とは、食べ過ぎ、食事バランスの偏り、塩分のとり過ぎ、運動不足、睡眠不足など食事や運動、休養などの生活習慣が原因となって引き起こされる様々な病気のことをいいます。以前は成人病と呼ばれていましたが、未成年者においても発症する可能性があることから1996年に当時の厚生省(現在の厚生労働省)が「生活習慣病」とすることを提唱しました。



日本人の三大死因であるがん、脳血管疾患、心疾患のほか、脳血管疾患・心疾患の原因となる動脈硬化症、高血圧症、糖尿病、脂質異常なども生活習慣病であるとされ、とくに食生活は大きくかかわっていると考えられます。中学生である皆さんは今のうちに日常生活を見直して、自分自身の将来の健康を考えましょう。



☆自分の食習慣について調べてみましょう。

生活習慣病の予防には、まず食習慣を見直すことが大切です。下の表を使って自分の食生活について考えてみましょう。

●————● 食習慣チェック表 ●————●

1. 食事は規則正しくとっていますか。 □はい □どちらともいえない □いいえ	5. よくかんで食べていますか。 □はい □どちらともいえない □いいえ
2. 食事バランスを考えてとっていますか。 □はい □どちらともいえない □いいえ	6. 塩分は控えめにしていますか。 □はい □どちらともいえない □いいえ
3. 間食はとりすぎないようにしていますか。 □はい □どちらともいえない □いいえ	7. 野菜、いも、果物を食べていますか。 □はい □どちらともいえない □いいえ
4. 就寝前に食事や間食をとっていませんか。 □はい □どちらともいえない □いいえ	8. 楽しく食事をとっていますか。 □はい □どちらともいえない □いいえ

「はい」の項目を少しでも増やすことができるように考えましょう。また、その他にも自分の食習慣に問題がないか考えてみましょう。